

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

成人特発性血小板減少性紫斑病治療に関する研究

[研究責任者]

江南厚生病院 血液・腫瘍内科 福島庸晃

[研究の概要]

成人特発性血小板減少性紫斑病（ITP）の最初に行う治療は、副腎皮質ステロイド療法とされています。しかし、ステロイドには免疫能低下や糖尿病などの副作用があり、特に高齢者においては、ステロイドの至適な投与量や投与期間は定まっています。また、次の治療としては、トロンボポエチン受容体作動薬、リツキシマブ、脾臓摘出術があるが、それぞれに長所と短所があり、優先順位は定まっています。

ITP に対する、副腎皮質ステロイド療法、トロンボポエチン受容体作動薬、リツキシマブ、脾臓摘出術などについて、有効性と安全性を明らかにすることを目的として調査をおこないます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年5月から2022年12月の間に当院にてITPと診断された患者。

●利用するカルテ情報

生年月日、性別、診断日、血小板数、幼弱血小板割合、血清CRP値、血清LDH値、血清免疫グロブリン値、クームス試験、治療、生死、再発・再燃の有無などの転帰等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 血液・腫瘍内科 福島庸晃

電話 0587-51-3333